

第2学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主 題 人権の尊重 ～誰一人取り残さない社会をつくるために～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

SDGs を人権の視点から考えさせることを通して、人権感覚を磨き、社会の一員として互いの人権を尊重するために行動しようとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

ポスターセッションを通して、SDGs 達成のための取組が人権を尊重し合う社会の実現に密接に結び付いていることに気付かせ、人権を尊重するために行動しようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 人権の尊重

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 本時の目標を理解する。	○前時の発表を想起させ、本時の学習を方向付ける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">誰一人取り残さない社会をつくるために、どのようなことができるのだろうか。</div>	
2 ポスターセッションにより、各班の取組を発表する。	○SDGs にひそむ人権課題と、その解決に向けた人々の取組を意識させ、人権に関する気づきを共有させる。
3 誰一人取り残さない社会をつくるためには、どのようなことが必要なのかを考える。	○各班の発表を振り返らせ、誰一人取り残さない社会のためにどのようなことが必要なのかを考えさせ、SDGs 達成のための取組が人権を尊重する社会の実現に密接に結び付いていることに気付かせる。①
4 誰一人取り残さない社会をつくるために、自分はどういうことができるのかを考える。	○SDGs を達成しようとする行動が人権を尊重するための行動であり、社会の一員としてSDGs の達成のためにできることを考えさせる。②

(4) 評価

- ・SDGs の各目標と人権を尊重する社会の実現が密接に関連していることを理解できたか。【知識的側面】①
- ・誰一人取り残さない社会をつくるためのSDGs 達成のために、人権を尊重した行動によって自分事として関わろうとする意欲を高めることができたか。【価値的・態度的側面】②